

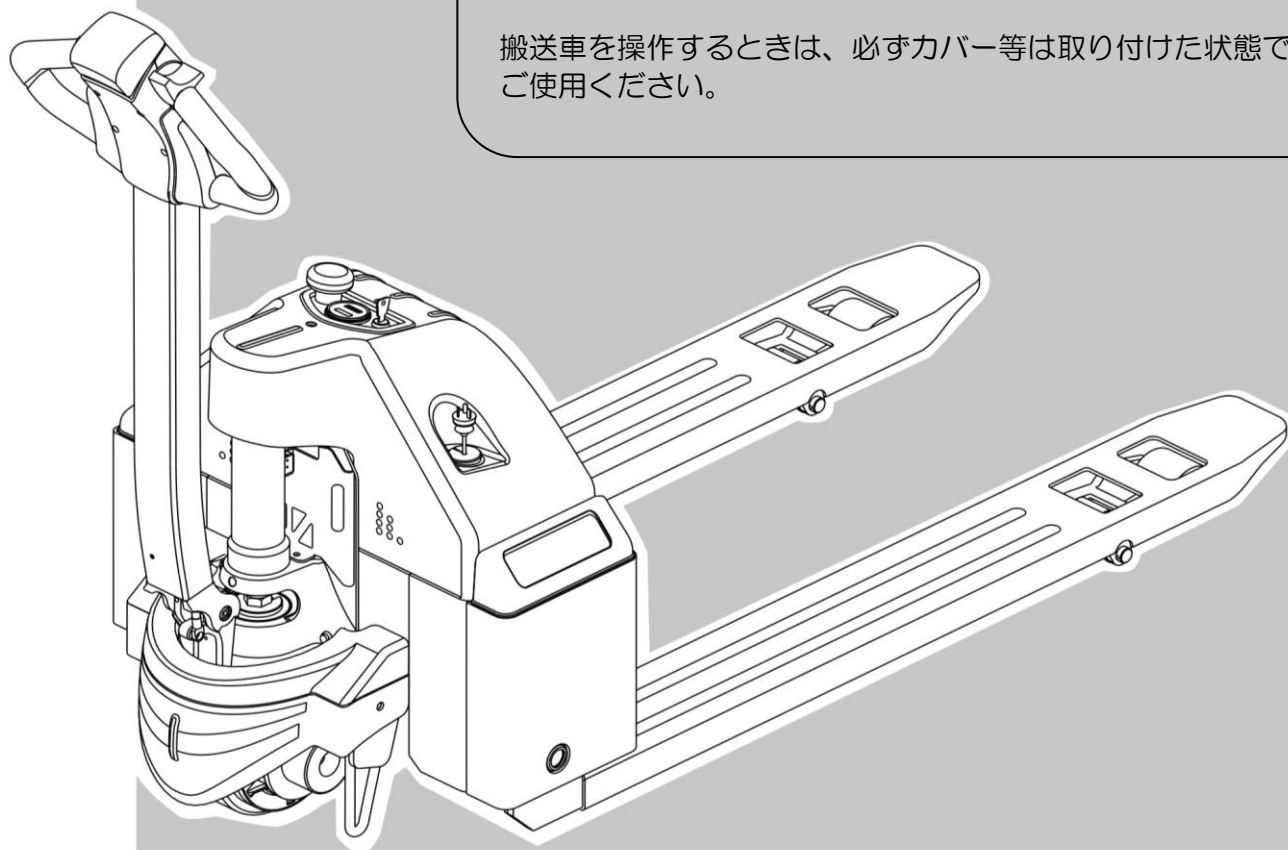
BDH15 ビシャモンドライブハンド 取扱説明書



警告

搬送車に関するすべての警告を操作する前にお読みいただき、操作をご理解いただいた上で安全にご使用ください。

搬送車を操作するときは、必ずカバー等は取り付けた状態でご使用ください。



まえがき



■このたびはビシャモンのBDH15 シリーズをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
お客様に安全、且つ有効にBDH15 をご利用していただくために、この説明書をよくお読みになり、
BDHの理解を深めてからご使用いただくようお願いいたします。
特に説明書中の注意事項および使用方法をよくお読みいただきますようお願いいたします。




■お買い上げの商品や取扱説明書の内容についてご質問がおありの場合は、お買い上げの販売会社まで遠慮なくお問い合わせください。なお、この説明書あるいは注意シール等は大切に保管していただき、万一紛失された場合は速やかにご請求ください。

◎この取扱説明書では「警告」「注意」について、次のような定義と傾向表示を使用しています。

警告表示は安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のための重要な事柄が記載されていますので、必ずよく理解してから本製品をご使用ください。

用語および記号の説明	
 警 告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。
 注 意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険および物的損害の発生が想定されます。

絵表示の例	
	←記号は行為を矯正したり指示したりする内容を告げるものです。
	←記号は禁止の行為であることを告げるものです。
	←記号は危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

もくじ


もくじ.....	2
①お客様の安全のために.....	3
②製品仕様.....	7
③製品機能説明.....	9
●外観.....	9
●ハンドル部詳細.....	9
●キースイッチ詳細.....	10
④操作方法.....	11
●操作準備.....	11
●移動.....	12
●ブレーキ.....	13
●荷物の昇降.....	13
⑤バッテリー充電と交換について.....	14
●バッテリーの充電.....	14
●充電ランプの表示.....	14
●バッテリーの交換方法.....	15
⑥搬送車の点検について.....	17
●定期点検.....	17
●部品交換.....	17
●始業点検.....	18
●1000 時間使用ごと（半年ごと）.....	18
⑦搬送車の給油について.....	19
●給油箇所（右図参照）.....	19
⑧トラブル時の対応について.....	19
⑨電気回路図.....	20
⑩廃棄.....	21
⑪商品保証規定.....	21
⑫アフターサービスについて.....	22

①お客様の安全のために

■一般的な安全遵守事項

- 取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用してください。
- 本製品の操作は、使用方法を熟知した人以外は使用しないでください。
- 始業点検および定期点検は、取扱説明書の本文に従って必ず実施してください。
- 運転時に異音発生等、普段と異なる状態のときは本製品の使用を禁止し、お買い上げの販売会社に連絡して点検を受けてください。
- 本製品は荷物の搬送以外には使用しないでください。
- 警告ラベルを取り外したり、改変したりしないでください。

■警告事項

 警 告	
<p>フォークの下に手足を入れしないでください。</p>  <p>挟まれて怪我をします。</p>	<p>人を乗せないでください。</p>  <p>転落して怪我をする可能性があります。</p>
<p>段差のある場所では注意して移動してください。</p>  <p>転落や転倒の危険があります。また、リフトの破損につながります。</p>	<p>移動する時には前後に人はいないことを確認してください。また路面上の障害物に注意してください。</p> 
<p>傾斜地では使用しないでください。</p>  <p>転落や転倒の危険があります。また、モーターの焼損やリフトの破損につながります。</p>	<p>急発進や急ブレーキ、急旋回はしないでください。</p>  <p>荷くずれや暴走につながります。</p>
<p>フォークの先端で荷物を持ち上げないでください。</p>  <p>リフトの破損につながります。</p>	<p>バッテリー充電時は火気厳禁</p>  <p>バッテリー</p>

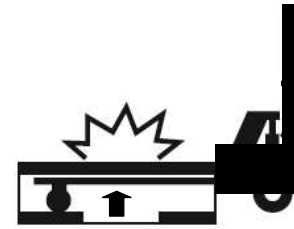
■注意事項全般

⚠ 注意

環 境	使用場所	…………	屋内
	周囲温度	…………	5~40℃ 結露や凍結の無いこと
	湿度	…………	35~85%
負 荷	雰囲気	…………	可燃性ガス・腐食性ガス・蒸気・粉塵の無いこと
	搬送荷姿	…………	600×600~1200×1200
	許容荷重	…………	1500kg

- 始業点検は必ず行ってください。
→接触事故につながるおそれがあります。
- 不安定な荷物や、能力を超える荷物を積載しないでください。
→事故や故障の原因になります。
- 走行路に物を置かないでください。
→搬送車に接触して走行の妨げになります。
- 走行路に水や油が飛散していないか確認してください。
→搬送車がスリップして走行できなくなります。
- 搬送車に火気を近づけないでください。
→火災を誘発する危険性があります。
特にバッテリーから引火性の水素ガスが発生するおそれがあります。
- 屋外では使用しないでください。
→故障の原因となります。
- 本製品は耐水仕様になっておりませんので、湿気の多い場所や水のかかる環境で使用しないでください。
→錆等を誘発し、故障の原因となります。
- 銘板類、安全表示や安全装置を取り外さないでください。
→事故の原因になります。
- 搬送車本体を改造しないでください。
→事故、故障の原因になります。
- 走行中に荷の積み降ろしをしないでください。
→搬送物が落下などして人が巻き込まれて怪我をするおそれがあります。

- フォークをパレットに差し込む際、フォークとパレットの間に手や足などを入れないでください。
→手や足が挟まって怪我をするおそれがあります。
- 搬送物の横ずりや引きずりをしないでください。
→バランスを崩して搬送物が落下したり、人が転倒するおそれがあります。
- 両面パレット、樹脂パレット使用時はフォークホイールがパレットの枠に掛からないように注意してください。
→搬送車が破損する可能性があります。
- 荷物やフォーク、バンパーなどの下に足などを入れないでください。
→挟まれて怪我をするおそれがあります。
- ハンドル可動部に手や指を入れないでください。
→手や指を怪我するおそれがあります。
- やむをえず、危険箇所に手などを入れて作業をする場合は、電源をOFFにして、バッテリーの配線を外してから作業してください。
→事故の原因になります。
- フォークは油圧シリンダーにより保持しています。
油圧機器の性質上フォークは極めて微少ながら下降していきます。
→フォークが上昇した状態を長時間保持することはできませんのでご承知ください。
- 操作時は、周囲の安全確認を必ず行ってください。
→事故の原因になります。
- 脇見、居眠り、考えことをしながらの操作は絶対にしないでください。
→事故の原因になります。
- 平坦でスムーズな路面で使用してください。
→搬送物の落下や、搬送車の転倒などに人が巻き込まれ怪我をするおそれがあります。
- いつでも非常停止ボタンの押せる態勢で操作してください。
→事故の原因になります。
- 搬送車から離れる場合は、必ずキースイッチをOFFにしてください。
→誤作動した場合、事故の原因になります。



※労働安全については、「労働安全衛生規則第 151 条車両系荷役運搬機械等」の項を遵守してください。

■バッテリー取り扱いに関する注意事項

- バッテリープラグやコネクタ類の抜き差しは、プラグやコネクタを持って行ってください。
→コードを引っ張るとショートや断線の原因になります。
- 充電用ケーブルコードを引っ張り過ぎないでください。
→コードを引っ張り過ぎるとショートや断線の原因になります。
- 充電用プラグは接触不良のないように、確実に差し込んでください。
→発熱して火災を招く原因になります。
- 充電用プラグの金属部分に濡れた手で触らないでください。
→感電等の事故の原因となります。
- 端子部分は確実に締め付けてください。
→発熱して火災を招く原因になります。
- バッテリー表面は常に清潔にしておいてください。
→発熱して火災を招く原因になります。
- バッテリーはショートさせないでください。
→発熱して火災を招く原因になります。
- 純正品以外の充電器は使用しないでください。
→バッテリーが爆発する原因になります。

⚠ 注意

搬送車から離れる場合や、搬送車を使用しない場合は、必ずキースイッチをOFFにしてください。バッテリーが一定量放電されてしまうとバッテリー交換が必要になる場合があります。また長期間使用しない場合はキースイッチをOFFにし、非常停止スイッチも押してください。※ただし、非常停止スイッチは、必要時以外は多用しないでください。スイッチを酷使すると動作に支障をきたす場合があります。

■点検・調整・修理時の注意事項

- 搬送車を点検する時は必ず電源を切り、バッテリーの配線を外してから行ってください。
→ショート、感電のおそれがあります。
- 点検・修理・調整は管理責任者の指示の元に専任者（または十分な技能の取得者）が行ってください。
- 搬送車を吊り上げる時は、その下に入らないでください。
やむを得ず入る場合には、台で支えるなど落下を防止する措置を十分に行った上で作業してください。
- 搬送車に荷を載せたまま吊り上げないでください。落下のおそれがあります。

②製品仕様

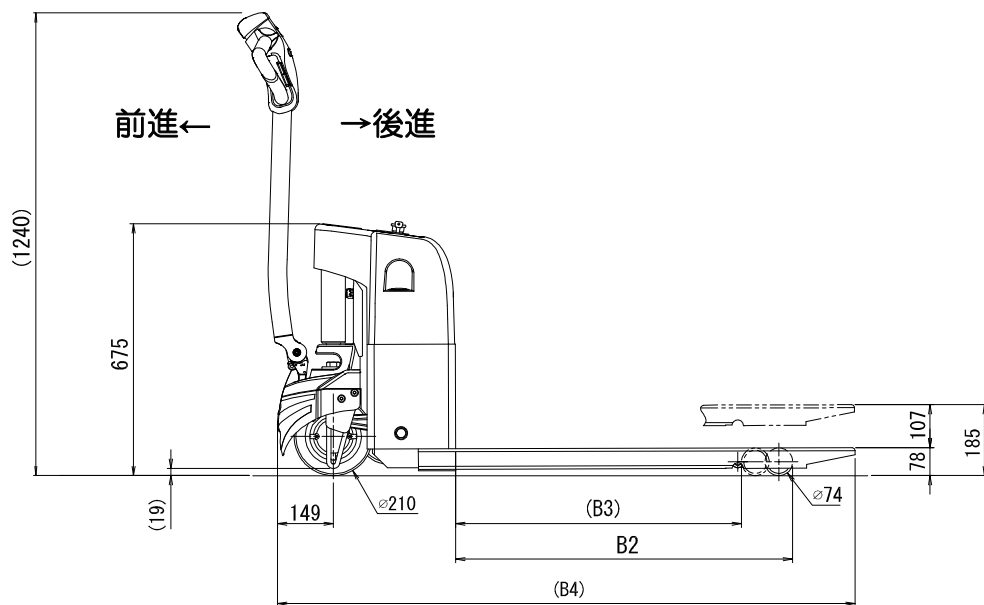
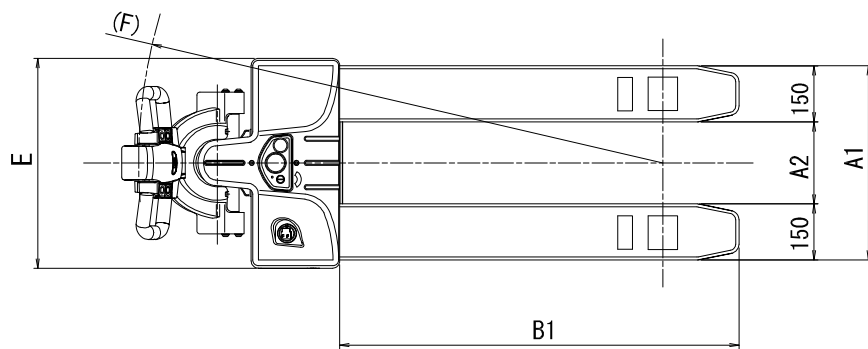
■標準仕様諸元

本仕様は予告無く変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

型式	BDH15
能力	1500kg
揚程	115mm（フォーク先端）
最低フォーク高さ	78mm
最高フォーク高さ	190mm（上昇リミットスイッチ停止）
車輪	Fφ74mm×Rφ210mm ウレタン
走行速度	3.5km/h（全負荷時）
	4.0km/h（無負荷時）
上昇モーター	0.84kw
走行モーター	0.65kw
安全装置	ハンドル切角度両側45度にて速度1/2に減速
	スロースタート制御
	セーフティスイッチ（作動後後進）
バッテリー	12V 72Ah（5時間率）×2
充電器	搭載式 AC100 対応
油圧シリンダー	φ30mm×608mm
オイル	ISO VG32 油圧作動油
総油量	0.8L
オプション	補助車輪
	フットガード

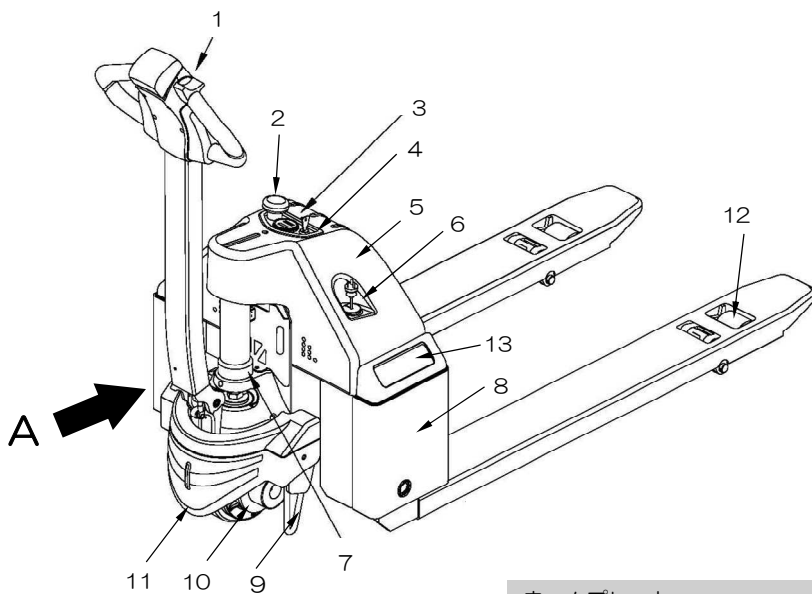
■寸法

機種名	A1	A2	B1	B2	B3	B4	E	F
BDH15M	520	220	1070	903	766	1541	560	R1405
BDH15S			980	813	676	1471		R1315
BDH15E			1220	1053	916	1691		R1555
BDH15-60M	600	300	1070	903	766	1541	600	R1405
BDH15-60LL			1220	1053	916	1691		R1555
BDH15C	685	385	1070	903	766	1541	685	R1405
BDH15LL			1220	1053	916	1691		R1555



③製品機能説明

●外観



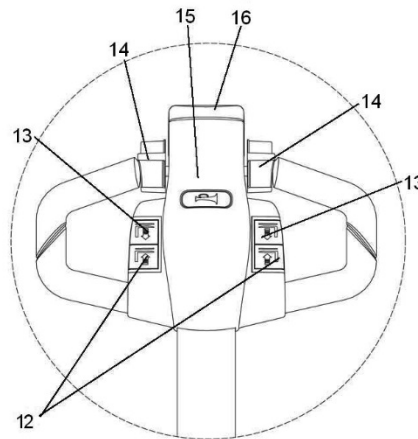
1	ハンドル
2	非常停止スイッチ
3	バッテリーインジケータ
4	キースイッチ
5	カバー（上部）
6	充電用プラグ
7	リフトシリンダー
8	フレーム
9	バランススタンド
10	ドライブホイール
11	カバー（下部）
12	フォークホイール
13	カバー（横幅 685mm タイプのみ）

ネームプレート
型式・能力・製造番号を記載



A部

●ハンドル部詳細

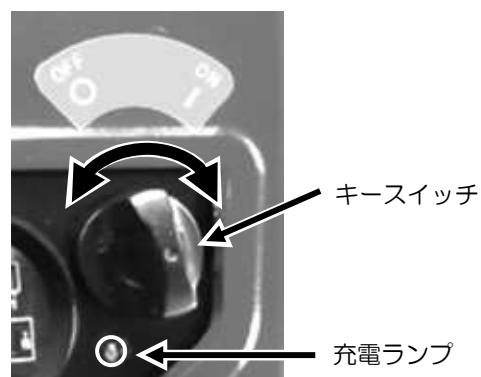


12	『下降』ボタン	フォークを下げます。
13	『上昇』ボタン	フォークを上げます。
14	操作レバー	移動スピードと方向を制御します。
15	ホーンボタン	警告音が鳴ります。
16	セーフティスイッチ	後進方向で操作している時、誤って作業者が壁等に挟まれた場合に作動します。セーフティスイッチが押され、搬送車は一旦停止した後、前進します。セーフティスイッチを離すと搬送車は停止します。

●キースイッチ詳細

搬送車の主電源です。

キースイッチを右にまわすと搬送車の電源はONになります。
キースイッチを左にまわすと搬送車の電源はOFFになります。
充電ランプは充電器の状態を表します。



- 赤点灯：充電中
- 緑点灯：満充電
- 黄点灯：バッテリー不良
- 黄点滅：充電器不良
- 赤点滅：充電器の出力電流が検出されない
- 点灯しない：充電器不良、もしくは入力側配線の接続不良

⚠ 注意

搬送車から離れる場合や搬送車を使用しない場合は、必ずキースイッチをOFFにしてください。
バッテリーが一定量放電されてしまうとバッテリー交換が必要になる場合があります。
また長期間使用しない場合はキースイッチをOFFにし、非常停止スイッチも押してください。
※ただし、非常停止スイッチは、必要時以外は多用しないでください。
スイッチを酷使すると動作に支障をきたす場合があります。

(1) バッテリーインジケータ

バッテリー容量を表示します。

バッテリーが満充電の場合、一番右のLEDが点灯します。
バッテリー残量に伴いLEDの光り方が変化します。
また充電が必要になるとLEDが点滅します。

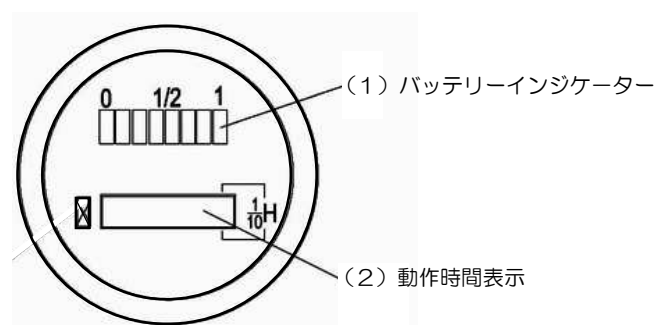
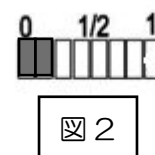
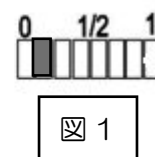


図1のように左から2番目のLEDが点滅している場合は、バッテリーを70%使用したことを表し、図2のように一番左とその隣のLEDが交互に点滅する場合は、バッテリーを80%使用したことを表しています。(点滅→充電が必要です)

またその状態になるとバッテリーの消費を抑えるため、高速走行ができなくなります。この場合はすぐに充電をしてください。
満充電になった時点で高速走行ができるようになります。



⚠ 注意

バッテリーはある程度の数値を放電してしまうと、充電が出来なくなるおそれがありますので、極力早めの充電を心がけてください。

(2) 動作時間表示

動作を行った時間を表示しています。
表示時間は、0.0 から 99,999.0 時間まで表示されます。

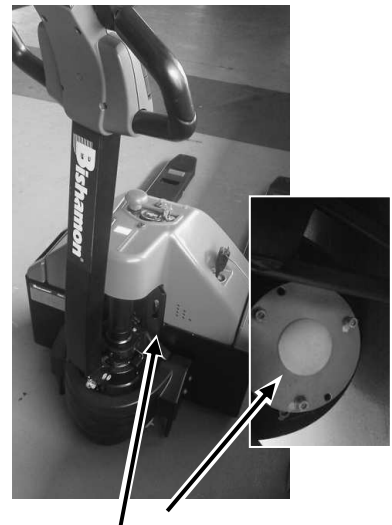
⚠ 注意

本体の故障や、バッテリーの放電で本体が走行できなくなった場合は、付属のネジを電磁ブレーキの閉いている2箇所
の穴に差込み、軽くねじ込むとブレーキが解除されます。

充電位置への移動が完了したら、付属のネジは取り外し、
保管しておいてください。

ブレーキを解除せずに強制的に移動させると、故障の原因
になりますので絶対に行わないでください。

ネジを紛失された場合は、M4×40mmをご使用ください。



電磁ブレーキ

④操作方法

●操作準備

- 1 作業開始前は点検を必ず行ってください。
→P18 始業点検

⚠ 注意

少しの故障でも大きな事故の原因となります。

少しでも異常が認められた場合は直ちに使用を中止し、管理者に報告して修理が完了するまでは
絶対に運転しないでください。

- 2 搬送車の取り扱いは、操作方法を熟知し十分練習を行ってください。

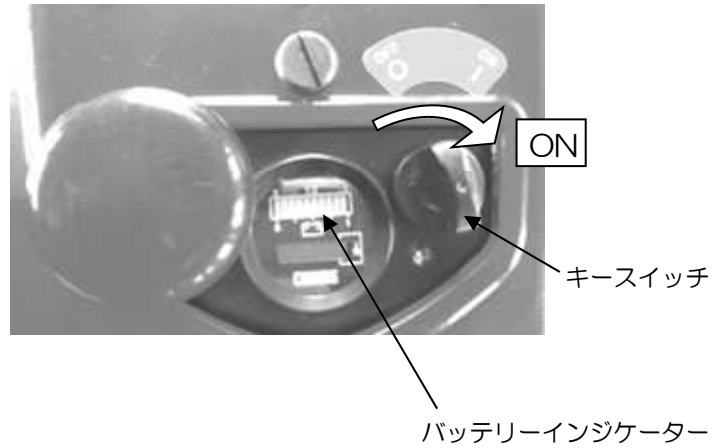
⚠ 注意

ご使用になる前に、各装置に慣れるよう十分な練習を行ってください。

取り扱いに慣れた後も慎重に運転され、無理な運転はしないでください。

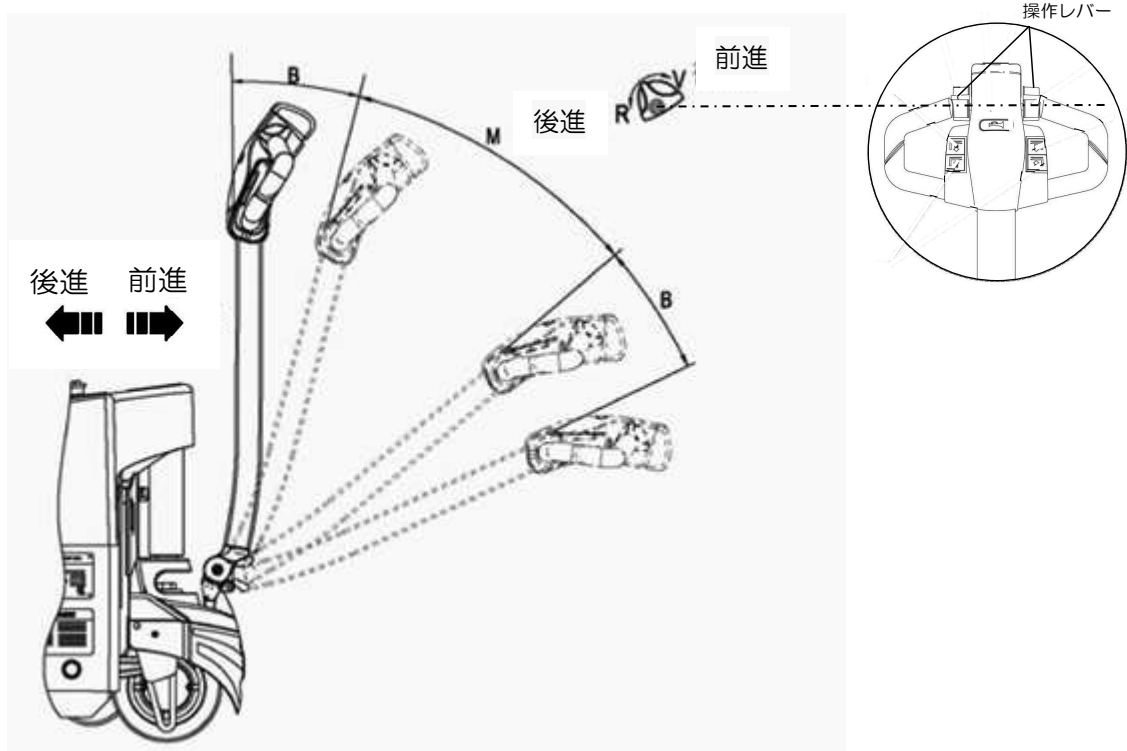
人身事故や物損事故を起こすおそれがあります。

- 3 動作エリア内に他の作業者がいないことを確認してください。
- 4 キースイッチをONにします。（内部よりファンが回る音が聞こえます）
バッテリーインジケータのLEDが点灯します。



●移動

ハンドルを、Mの範囲内に倒し、操作レバーを回転させることで搬送車は移動します。
操作レバーの回転で進行方向、速度をコントロールすることができます。



●ブレーキ

■ハンドルブレーキ

ハンドルが上記図Bの範囲にある場合は自動的にブレーキがかかります。

⚠ 注意

ハンドルを離した状態で、ハンドルが元の位置に戻るか確認してください。
戻らない場合はガススプリングの交換が必要です。

■操作レバーブレーキ

操作レバーを離し、速度が1 km/h未満になるとブレーキがかかります。

■非常停止

非常停止スイッチを押すと全機能が停止します。

非常停止スイッチ



●荷物の昇降

■荷物の上昇

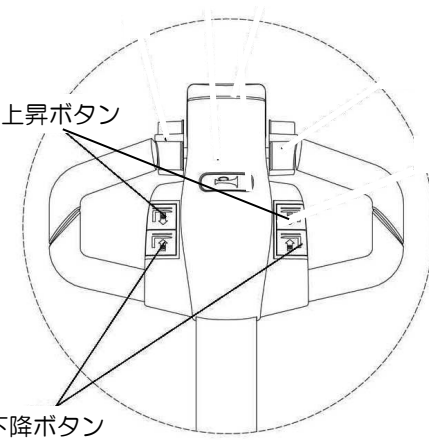
必要な高さまで上昇ボタンを押し続けてください。

■荷物の下降

必要な高さまで下降ボタンを押し続けてください。

上昇ボタン

下降ボタン



⚠ 注意

- ・ 規定能力以上の荷物を乗せないでください。
- ・ 荷物の重心は、フォークの中心になるようご使用ください。

規定能力以上の荷重や、荷物が偏った状態で上昇や下降を行った場合、致命的な故障や荷崩れなどの原因となりますので絶対に行わないでください。

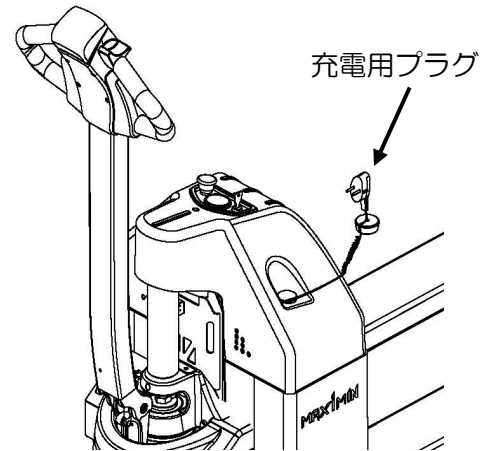
⑤バッテリー充電と交換について

●バッテリーの充電

バッテリーの充電は、充電用プラグをAC100Vのコンセントに差し込むことで充電を開始します。

⚠ 注意

- 充電中は絶対に操作はしないでください。
充電中の操作により充電の中断や、製品の破損につながります。
- バッテリーの充電時間は約8時間です。
(充電時間は使用環境やバッテリーの状況で異なります)
- バッテリーの寿命は、約充電回数500回です。
(バッテリーの寿命はあくまで目安となります。
使用環境や使用状況で著しく低下することがあります)
- 専用の充電器以外は使用しないでください。
(爆発等の原因となります)

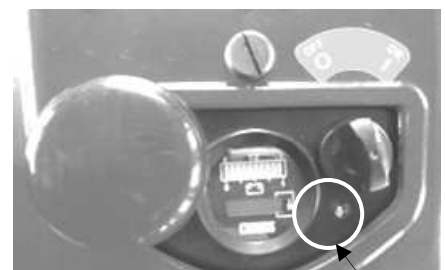


●充電方法

- ① 周囲に火気等、危険がなく、換気がよく平坦な場所であることを確認します。
- ② キースイッチをOFFにします。
- ③ 充電用プラグを取り出しコンセントに差し込みます。これで充電が開始します。
- ④ 充電ランプが赤に点灯することを確認します。
- ⑤ 満充電になり充電が完了すると、充電ランプが緑に点灯します。

●充電ランプの表示

- 赤点灯：充電中
- 緑点灯：満充電
- 黄点灯：バッテリー不良
- 黄点滅：充電器不良
- 赤点滅：充電器の出力電流が検出されない
- 点灯しない：充電器不良、もしくは入力側配線の接続不良



充電用ランプ

●バッテリーの交換方法

⚠ 注意

バッテリーの交換は、必ず電源（キースイッチ、非常停止スイッチ両方とも）をOFFにし、広くて安全な場所で行ってください。

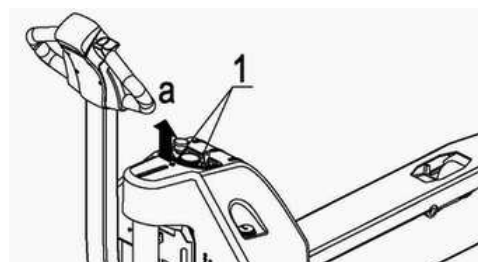
※バッテリーを交換する際には、必ず満充電の状態まで充電をしてからご使用ください。

満充電にすることで、バッテリーとバッテリーインジケーターとの誤差を補正します。

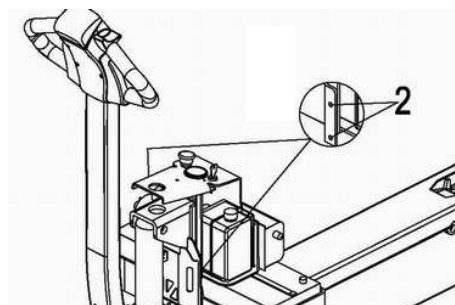
満充電にしないで、使用した場合、バッテリー残量を正しく表示せず、充電不良などのトラブルにつながる可能性があります。

① カバーを外します。

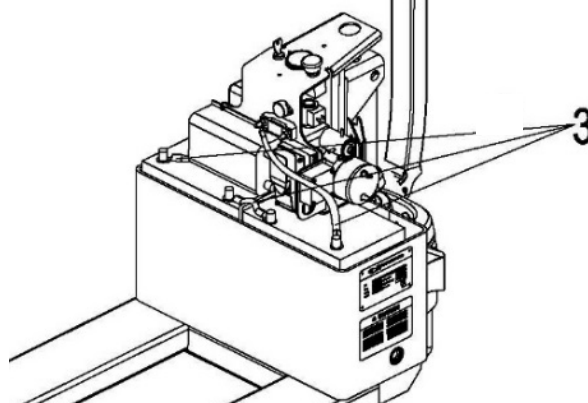
マイナスドライバーを使い、右図：1の2本のネジを取り外します。aの矢印方向へ持ち上げるとカバーが外れます。



② 5mmの6角レンチを使用し、右図：2のネジ4本（片側2本）を取り外します。



③ 右図：3で示している3本のバッテリーケーブルを外してください。

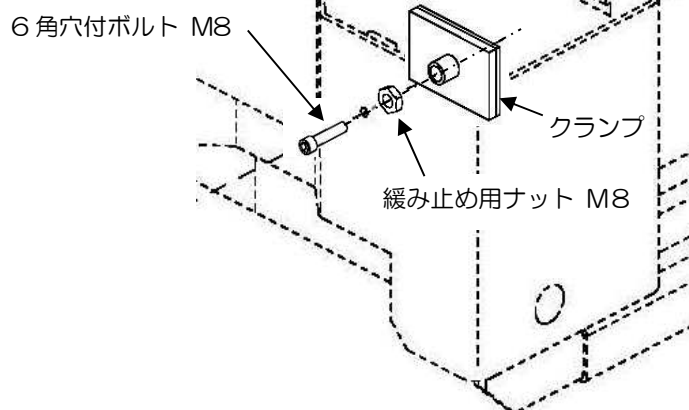


⚠ 注意

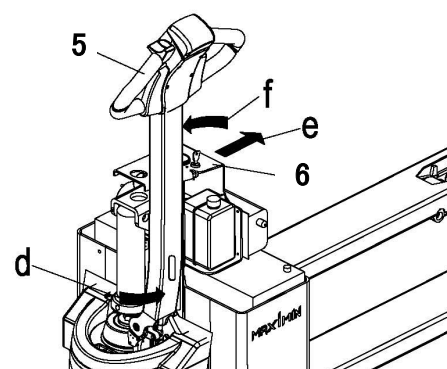
バッテリーの取り外し、および取り付けの際にバッテリーケーブルに傷を付けないように気を付けてください。

傷によりショートを起こすおそれがあります。

- ④ 左右のバッテリーを固定しているクランプを緩めます。
緩み止め用ナットを 13 のスパナで緩めた後、6mm
の六角レンチで六角穴付ボルトを緩めます。

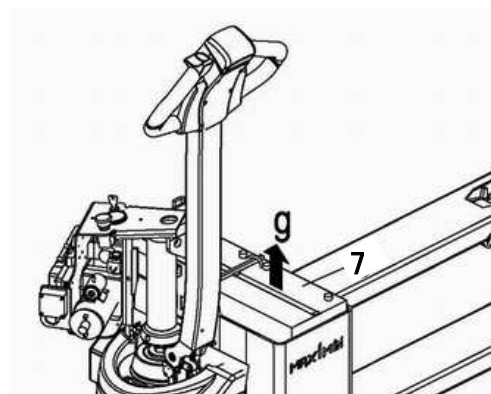


- ⑤ ハンドルは d の矢印方向へ目一杯回転させてください。



- ⑥ 電気パネルを e の矢印方向へ引き出し、f の方向に回転
させることで、バッテリーを取り外せるようになります。

- ⑦ バッテリーは g の矢印方向に引き抜きます。



- ⑧ バッテリー交換後、逆の手順で組み付けて終了です。

⚠ 注意

バッテリーの大きさや重量は、搬送車の操作性や安全性にかなり影響を及ぼします。
搬送車の性能を十分に発揮させるためにも、純正品をご使用ください。

⑥搬送車の点検について

●定期点検

本製品を安全にご使用していただくために、必ず始業点検を実施してください。
(始業点検は、次ページにあります「始業点検表」にもとづいて実施してください)

※異常と思われる箇所が発見された場合は、直ちに使用を中止し、販売会社に連絡してください。
また、完全に修復されるまで本製品の使用はしないでください。
そのままお使いになると、本製品の破損および重大な事故につながるおそれがあります。

●部品交換

本製品を安全にご使用していただくためには、定期的な消耗部品の交換が必要となります。
定期消耗部品はお客様でストックされることをお勧めします。

<ホイール>

ホイールの品質は搬送車の安全性と性能に影響を及ぼします。
部品の交換は必ず純正品をご使用ください。
純正品を使用されない場合の不具合等は保障しかねます。

注意

フォークホイールの偏った摩耗は、操作性が不安定になったり、荷崩れを起こす原因となりますので、フォークホイールの交換は1台分で行ってください。

<油圧ホース>

油圧ホースの交換は6年ごとに交換してください。

点検項目

●始業点検

区分	点検項目	掲載ページ	番号	点検方法	判断基準
制御装置	ハンドル	P8	1	手触	傾けた状態から手を離すと垂直に戻ること
	操作レバー	P9	14	手触	正常に前進・後進ができること 手を離せば、常にニュートラル位置に戻ることに
	下降ボタン	P9	12	手触	フォークが下降すること
	上昇ボタン	P9	13	手触	フォークが上昇すること
	ホーンボタン	P9	15	手触	警告音が鳴ること
	セーフティスイッチ	P9	16	手触	後進に操作レバーを回転させた状態でセーフティスイッチを押したとき、搬送車が停止して前進すること
	キースイッチ	P8	4	手触	P10を参照し正常に働くこと
制動装置	ブレーキ			手触	キースイッチがOFFの状態でも前後方向に動かしても動かないこと
				聴診	異音がしないこと
駆動装置	リフトシリンダー	P8	7	聴診	異音がしないこと
				目視	油漏れが無いこと
	ドライブホイール	P8	10	聴視	異音がしないこと

●1000時間使用ごと（半年ごと）

区分	点検項目	点検方法	判断基準
外観	フレーム	手触	損傷などが無いこと
		手触	ボルト等緩みが無いこと
	カバー	手触	損傷などが無いこと
		手触	ボルト等緩みが無いこと
車輪	ホイール	目視	摩耗や破損が無いこと
		聴視	異音がしないこと
電源	バッテリー	目視	バッテリーに傷等が無いこと
		手触	ケーブルの緩み、傷等無いこと
配線	ケーブル	目視	被覆の傷、めくれ等が無いこと
給油	グリス	目視	P19 Aの箇所にグリスが塗られていること
	作動油		油量が適正に入っていること
制動	ブレーキ	目視	異物やほこりが入っている場合は取り除いてください

⑦搬送車の給油について

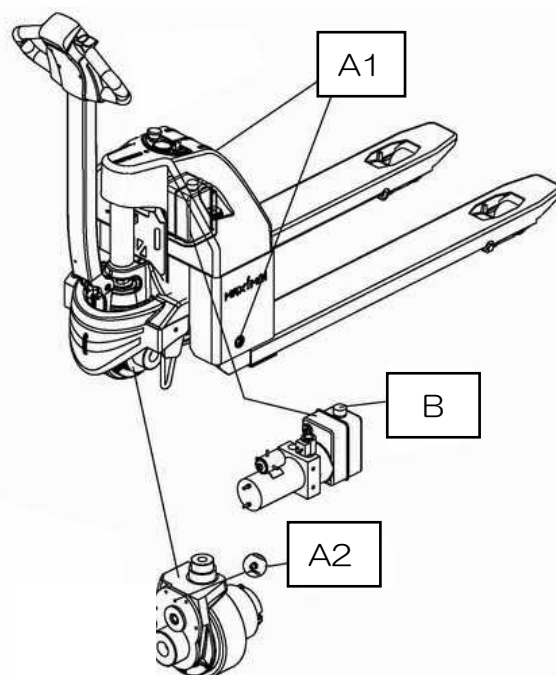
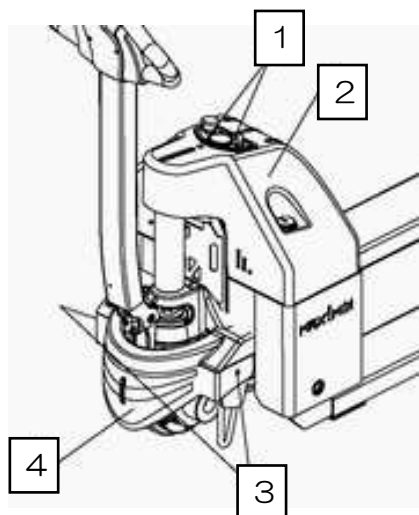
●給油箇所（右図参照）

A：万能グリス2種

- 右図：A1については直接給油を行うことが可能です。
- 右図：A2については、下図：3の2箇所のネジを取り外し、4のカバーを取り外して給油を行います。

B：作動油（ISO VG32）総油量 800ml

- 下図：1のネジを取り外し、2のカバーを上を持ち上げて取り外します。
- 右図：Bのフタの裏側にゲージがありますので、オイルを適量になるまで入れてください。



⚠ 注意

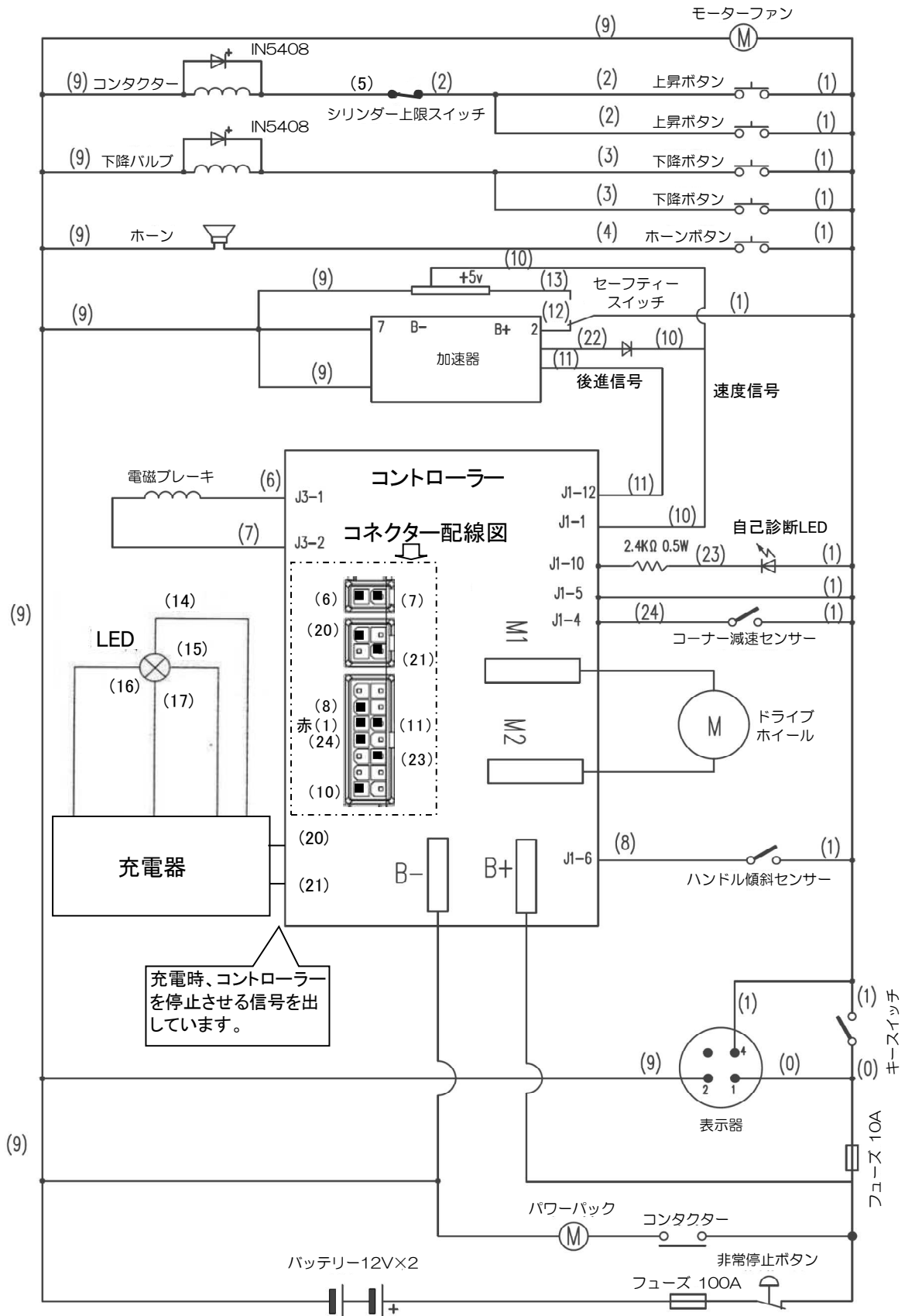
<グリスニップルについて>

グリスガンではグリスが入らない場合があります。
エアーもしくは電動のグリス用ルブリケーターをお使いください。

⑧トラブル時の対応について

症状	原因	対策
搬送車の電源が入らない	キースイッチがONになっていない	キースイッチをONにしてください
	バッテリーの電圧が低い	バッテリーを確認し、必要な場合充電をしてください
	ヒューズが切れている	ヒューズの交換
	搬送車が充電中	充電を中止してください
荷物が持ち上がらない	作動油が少ない	規定のオイル量を入れてください
	ワークが重たい	ワーク重量を確認してください
	上限リミットスイッチの故障	上限リミットスイッチの調整・交換
充電できない	充電ランプの故障	パイロットランプの交換
	バッテリーの寿命	バッテリーの交換
	充電器の故障	充電器の交換
高速走行できない	バッテリーの電圧低下による速度制御が働いた	バッテリーを充電する（満充電にする）

⑨電気回路図



⑩廃棄

本製品を廃棄するときは、鉄鋼材・非鉄材・樹脂材・作動油等に分別し、産業廃棄物として処理してください。ご不明の場合は販売会社へ相談のうえ処理してください。

⑪商品保証規定

保証規定

取扱説明書、本体注意シール等の注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内（納入後3ヶ月以内）に故障した場合は、弊社の責任において無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をいたします。ただし、二次的に発生する損失の保証および、次の場合に該当する故障は保証いたしておりません。

- (1) 使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
- (2) 商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障および損傷。
- (3) 消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- (4) 火災、地震、風水害、その他天災地変等、外部に要因がある故障および損傷。
- (5) 指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合。
- (6) 日本国外で使用される場合。
- (7) 保証請求手続きが不備の場合。（例：型式および機体番号の連絡がない場合 etc.）
- (8) 設置に原因がある故障および損傷。
- (9) 弊社販売会社および弊社以外で行われた修理。
- (10) 酷使・過失または事故によって生じたと認められる故障。

なお、本製品およびその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然消耗する部品、ならびに消耗品については保証の適用は除外させていただきます。

本製品は屋外設置および耐水仕様になっておりませんので、錆・腐食・漏電等の水による故障は保証いたしておりません。

保証請求方法

上記規定に基づき本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げいただいた販売会社までご連絡ください。販売会社において必要な手続きを実施いたします。

なお、保証の可否は勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご了承ください。

⑫アフターサービスについて

調子が悪い時	まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪い時	商品保証規定に従い修理いたしますので、お買い上げいただいた販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間内の修理について	保証期間は納入後3ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理いたします。
保証期間後の修理について	お買い上げいただいた販売会社へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
補修用性能部品の保有期間	本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後10年間です。 (性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げいただいた販売会社へお問い合わせください。お問い合わせいただく際には、次のことをお知らせください。

型式・機体番号・購入年月日・故障状況（できるだけ詳しく）

上記事項を下表に記録しておくこと、お問い合わせの際に便利です。

型式		
機体番号	No.	
購入年月日	年 月 日	
購入店名	社名：	担当者：
	住所：	電話：
設置業者	社名：	担当者：
	住所：	電話：
故障日・状況	年 月 日 状況：	



販売会社、または施工業者の方への**お願い**
この取扱説明書は、必ずお客様にお渡ししてください。



<http://bishamon.co.jp> E-mail:sales@bishamon.co.jp

〒444-1394 本社 愛知県高浜市本郷町4丁目3番地21 tel.0566-53-1126 fax.0566-53-1844

〒146-0083 東京 東京都大田区千鳥2丁目2番12号 tel.03-3759-9722 fax.03-3759-9723

〒537-0002 大阪 大阪府大阪市東成区深江南2丁目3番22号 tel.06-6747-7617 fax.06-6747-7618

その他営業拠点 仙台・前橋・広島・福岡

OM-BDH15 2210③1208-S